

「あなたの推しは何ですか?」

式典会場で神栖の魅力のイチオシを聞きました。



2026年神栖市はたちのつどい実行委員

今年の実行委員は16人。役割分担はすべて立候補で決まり、4ヶ月かけて準備をしました。意気込みを尋ねると、「中学の時にコロナ禍で厳しい状況を乗り越えた仲間だからこそ、分かり合えることがあります。みんなで協力して素晴らしい式にしたいです」(実行委員長・伊藤綾希さん)、「一生に一度のことなので、皆さんの記憶に残る式にしたいです」(副実行委員長・坂本雄介さん)と話してくれました。誓いのことばを担当する2人は「大きい式典を運営した経験は、今後の人生の糧になると思います」(今

泉咲良さん)、「人前に立つの得意ではありませんが、挑戦することにしました」(緑川由華さん)。司会を担当する2人は中学時代の生徒会長と副会長で、「はたちのつどいという大舞台で、2人で司会をしたいと思いました」(磯海斗さん)、「いろいろな困難を乗り越えてきた最強のバディです」(池永修斗さん)と息がぴったり。

式の前日は口々に「緊張している」と不安そうな面持ちでしたが、当日は舞台で堂々と振る舞い、それぞれの役割を立派に果たしました。

